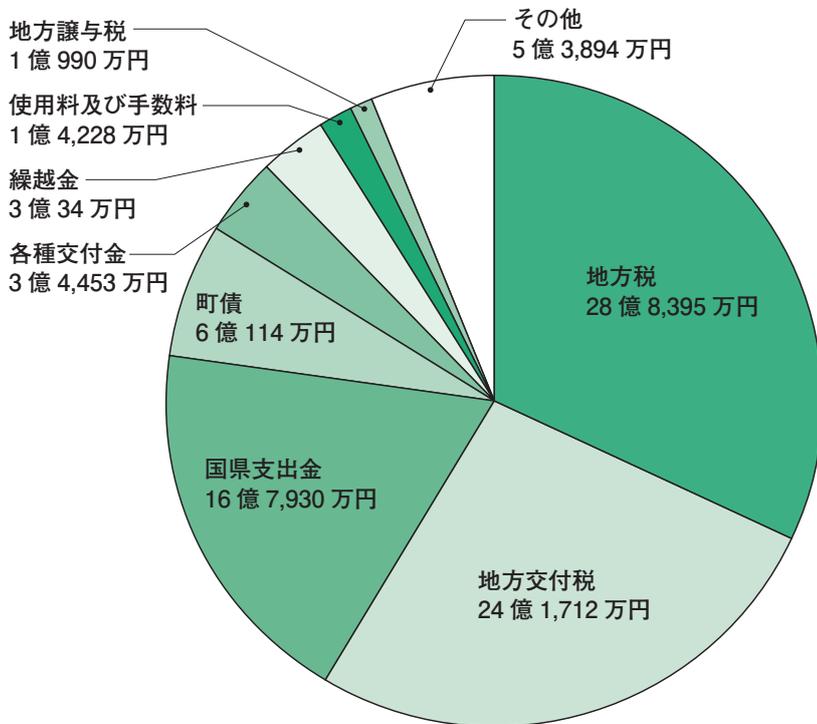


# 決算から見る、町の財政

## 特集1 平成23年度決算報告

### 収入 90億1,750万円



### 収入 平成22年度と比べ2億2,861万円の減少

【主な増減要因】( )は前年度比

- 地方交付税……………+1億1,942万円(+5.2%)  
普通交付税が1億1,732万円増加
- 国庫支出金……………+2億2,292万円(+26.6%)  
社会資本整備総合交付金が1億135万円、安全安心な学校づくり交付金が1億1,052万円増加
- 繰入金……………-6億6,428万円(-93.7%)  
大きく減少したのは基金の再編に伴う繰入金(7億432万円)。これを除くと実質的には退職手当基金繰入金などが4,000万円増加
- 町債……………-8,773万円(-12.7%)  
臨時財政対策費が1億783万円減少

その結果、決算では平成22年度に続いて単年度収支が黒字になり、財政状況の余力を示す数値(経常収支比率)も平成22年度並みの数値を保っています。

平成23年度は第5次総合計画の初年度であり、「輝き」「安全安心」「心の豊かさ」をキーワードとするまちの将来像の実現に向けて、JR海老津駅南側道路等整備事業などの重点プロジェクトをはじめ、医療や福祉、防犯、防災など岡垣町に住む皆さんが安全で安心して生活することができるように各種の施策を実施しました。

### 4億288万円の黒字

9月の定例議会では、平成23年度の一般会計と3つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。今回の特集では、その主な内容などをお知らせします。

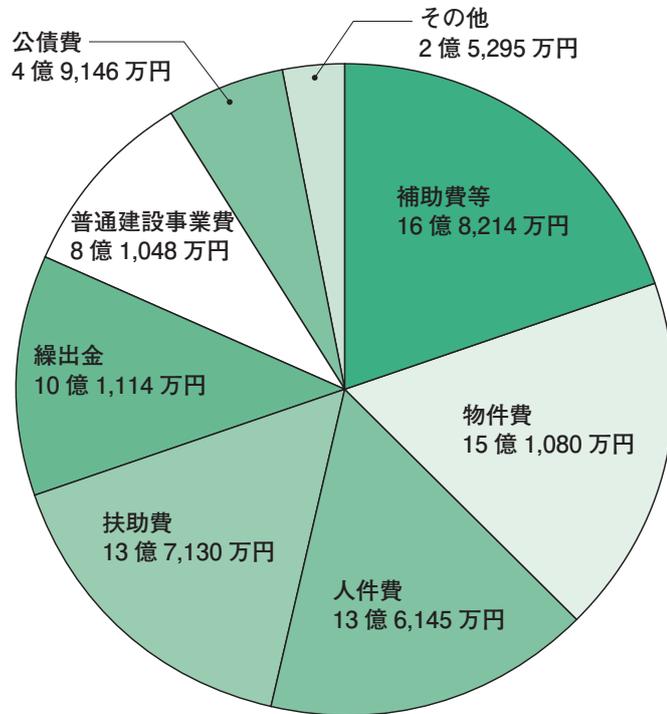
一般会計の収入額は90億1千750万円、支出額は84億9千172万円となりました。この収入から支出を差し引いた額から平成24年度に繰り越す必要がある1億2千290万円を除いた実質収支は4億288万円の黒字になりました。このうち、1億5千万円を基金に積み立て、残りの2億5千288万円を平成24年度に繰り越しました。

このうち  
1億5千万円を基金に積み立て  
2億5千288万円を平成24年度に繰り越し

# 実質収支 4億288万円

収入から支出を差し引いた額から  
平成24年度に繰り越す必要がある  
1億2千290万円を除いた実質収支は

# 支出 84億9,172万円



### 【町債と基金の状況】

町債	
平成21年度	53億8,665万円
平成22年度	57億643万円
平成23年度	59億1,440万円

基金	
平成21年度	53億7,657万円
平成22年度	55億3,583万円
平成23年度	57億6,942万円

※土地開発基金などの定額運用基金を含む

## 支出 平成22年度と比べ3億2,405万円の減少

【主な増減要因】( )は前年度比

- 人件費……………- 8,748万円 (- 6.0%)  
議員の報酬が1,232万円、職員の給与が3,505万円、退職手当が6,323万円減少
- 扶助費……………+ 7,425万円 (+ 5.7%)  
児童手当は4,012万円減少しましたが子ども手当が7,956万円、自立支援事業費が2,942万円増加
- 普通建設事業費……………+ 3億1,069万円 (+ 62.2%)  
J R海老津駅南側道路等整備事業が1億3,986万円、小中学校耐震化事業が2億1,643万円増加
- 積立金……………- 6億6,833万円 (- 84.0%)  
大きく減少したのは基金の再編に伴う元金積立金(7億432万円)。これを除くと実質的には4,299万円増加

岡垣町は昭和40年代以降、住宅団地の開発などで人口が増加してきましたが、平成23年度は人口が減少に転じました。将来に向けて安定した行政経営を行うためには、町が独自に得ることができない自主財源を増やすことが必要です。そのためにも平成23年度から始まった第5次総合計画に基づき、定住人口の増加と企業誘致を推進し、計画の重点プロジェクトであるJ R海老津駅南側道路等整備事業などを確実に進めていきます。

また、平成22年度に策定した事務事業見直し・行政組織改編実行計画を今後も着実に実行し、より効率的な行政経営への転換を図っていきます。

将来のため、自主財源の確保に努めます

決算の状況から見ると、平成22年度と同様に行政構造改革による経費削減などの効果で、各種財政指標が改善しています。

一方、近年では町税の収入が減少傾向になっているため、地方交付税などの国の施策の影響を大きく受ける状況になっています。

このため、自主財源の確保とさらなる経費削減が課題となっています。

# 第5次総合計画の実現に向けて、 取り組みを開始しました

平成23年度は「第5次総合計画」の1年目の年です。  
3つの将来像ごとに、主な事業の成果などを紹介します。

## 輝き

自然の恵みを守り活かし輝くまち

豊かな自然を愛し、環境と共生  
するまちをつくれます

- 荒廃森林の再生 2千181万円
- 自然環境の啓発など 132万円



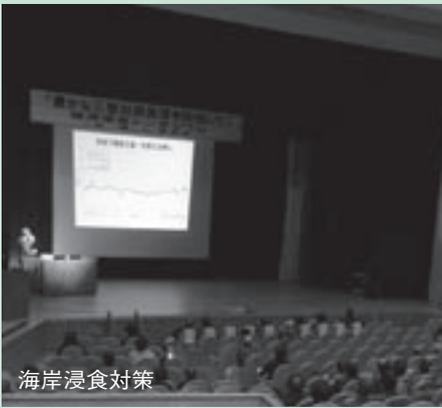
自然環境の啓発など

- 緑のまちづくりの推進 74万円
- 資源ごみ、生ごみ回収奨励など 968万円
- ハイブリット太陽灯の設置 609万円

## ■ 海岸浸食対策

89万円

三里松原海岸の浸食の要因とその対策を探るため、平成20年度から3年間、九州大学と九州共立大学に調査を委託し、平成23年度はその調査結果と今後の対策を検討するためのシンポジウムを開催しました。今後、芦屋町と共同で協議会を設立し、対策実施に向けて取り組みを進めます。

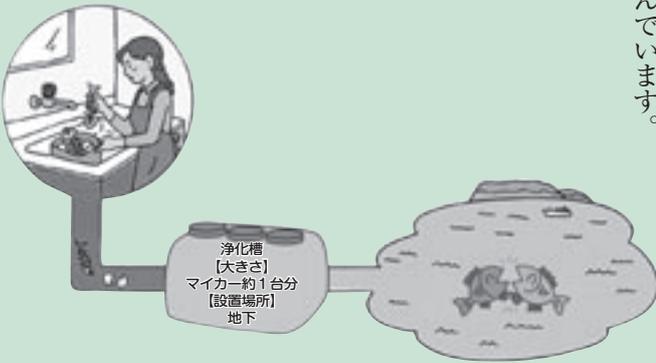


海岸浸食対策

## ■ 浄化槽設置の補助

183万円

平成24年度から下水道区域外での小型合併処理浄化槽の本体設置費用の補助率を85%に大幅に引き上げ、浄化槽の設置促進に取り組んでいます。



地の恵み・地の利を活かした活  
力ある産業を育てます

## ■ 新規就農者の支援

123万円

## ■ 中山間地域の農業支援

1千163万円

## ■ 排水機場の整備

647万円

## ■ 漁業の支援

213万円

## ■ 失業者の雇用対策

5千131万円

## ■ 商工会の支援

1千848万円

## ■ 商工業者の資金調達を支援

5千241万円

## ■ 企業の誘致活動

608万円



企業の誘致活動

## ■ 観光施設の維持管理 ■ 観光のPRなど

848万円  
187万円

【JR海老津駅南側道路等整備事業の取り組み経過】

平成21年度	○海老津白谷線道路等整備基本計画策定
平成22年度	○基本計画を基に住民説明会を開催 ○基本計画を都市計画審議会で都市計画決定 ○海老津白谷線道路実施設計・駅南側広場基本設計・地下自由通路予備設計

■ JR海老津駅南側道路などの整備  
平成23年度は平成21年度に策定した基本計画に基づき、海老津白谷線道路の一部施工、駅南側広場の実施設計、地下自由通路の詳細設計を行いました。

みんなが安全で快適に暮らせるまちをつくります

**安全安心**  
みんなが安全で安心して暮らせるまち

- 排水路の整備 6千525万円
- 町営住宅の維持管理 1千658万円
- 町営住宅長寿命化計画の策定 411万円
- 情報プラザ人の駅の運営 6千883万円
- 公共交通の利用促進 509万円



JR海老津駅地下自由通路の完成イメージ（駅北側からの眺望）

【コミュニティバスの取り組み経過】

平成21年度	○低床バス2台を導入
平成22年度	○第2次公共交通体系整備計画に基づき、3路線から新たな地域を含め4路線に再編し、実証運行を開始 ○コミュニティバスと路線バスの運賃格差是正（路線バス運賃を町内全域150円均一に変更）
平成23年度	○実証運行を継続して実施
平成24年度	○4月から運賃を150円とし、路線バスとの運賃を統一 ○10月からジャンボタクシー車両の運行を2台から3台に増やして、1日当たり14便を増便

■ コミュニティバスの運行  
ダイヤ改正や時刻表の携帯版作成など、住民の皆さんが利用しやすいものにするための取り組みを行いました。  
4千129万円



住民の健康づくりの推進

- いこいの里の運営 3千566万円
- 住民の健康づくりの推進 6千482万円
- 社会福祉協議会への支援 128万円

みんなが健やかで安心して暮らせるまちをつくります



コミュニティバスの運行

■防犯対策の推進 85万円  
 ■防犯灯の整備 783万円



防犯灯の整備

■がん検診などの実施 2千353万円  
 ■高齢者への福祉サービスの実施 349万円

■介護予防サービスの実施 3千207万円

■高齢者福祉計画の策定 147万円

■シルバー人材センターへの支援 1千402万円

■老人クラブへの支援 441万円

■障害福祉計画などの策定 210万円



障害福祉計画などの策定

■自立支援サービスの実施 3億3千868万円

■障害者への生活支援 2千130万円

■災害時要援護者支援計画の策定 25万円  
 ■町道の歩道整備 3千317万円

## 心の豊かさ

地域を愛し、心豊かな人が育つまち

子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちをつくりまします

■乳幼児・妊産婦健康診査の負担 2千561万円

母子ともに健康で安全な出産ができるように、平成21年度から妊婦健診の公費負担回数を3回から14回に増やすとともに、県外里帰り受診への補助を行っています。



乳幼児・妊産婦健康診査の負担

■乳幼児への感染症予防対策の実施 3千326万円

■子宮頸がん予防ワクチン接種などの実施 5千125万円

■こども未来館の運営 1千191万円



こども未来館の運営

■乳幼児の医療費を負担 8千628万円

■子ども手当の給付 5億8千958万円

■届出保育所保育料の支援 363万円

経済的支援と待機児童の解消を目的として、平成23年度から新たに届出保育施設保育料補助制度を設け、その保護者に対し、月額保育料の一部補助(3歳未満1万円、3歳以上5千円)を行っています。  
 ■保育所の運営など 2億2千933万円

■民間保育所への運営委託 4千126万円

■学童保育所の運営 3千94万円

児童の健全育成と共働き家庭の就労支援を行うため、指定管理者に委託して学童保育所の運営を行っています。また、山田小学校の児童数の大幅増に伴い、平成22年度から新たに山田第二学童保育所を開設しています。



平成22年度新設の山田第二学童保育所

■外国語指導助手の招致 480万円

■英会話講師の授業実施 411万円

■小中学校給食の実施 5千771万円

■ひとり親家庭の医療費を負担 1千971万円

■障害児学童保育の実施 990万円

■重度障害者の医療費を負担 7千35万円

■私立幼稚園の就園支援 7千243万円

■私立幼稚園の就園支援 7千243万円

■私立幼稚園の就園支援 7千243万円

【小中学校の耐震補強の取り組み状況】

	校舎	体育館
内浦小	●完了 (H20)	◎診断の結果耐震補強は不要 (H 23)
海老津小	◎診断の結果耐震補強は不要 (H23)	●完了 (H23)
戸切小	●完了 (H23)	○耐震診断の結果待ち (H24)
山田小	◎ H13 建築のため耐震補強は不要	○耐震診断の結果待ち (H24)
吉木小	●完了 (H24)	○耐震診断の結果待ち (H24)
岡垣中	●完了 (H23)	○耐震診断の結果待ち (H24)
岡垣東中	○耐震診断の結果待ち (H24)	◎ S58 年建築のため耐震補強は不要

■小中学校の耐震補強工事など  
平成23年度は、岡垣中学校校舎・戸切小学校校舎・海老津小学校校舎・育館の耐震補強工事、海老津小学校校舎・内浦小学校校舎の耐震診断、吉木小学校校舎の耐震補強設計を行いました。  
平成24年度は、吉木小学校校舎の耐震補強工事のほか、戸切小学校・山田小学校・吉木小学校・岡垣中学校の体育館と岡垣中学校校舎の耐震診断を行っています。

- 岡垣サンリーアイの運営 2億2千314万円
- 岡垣サンリーアイの改修 2千668万円
- 公民館講座の実施 375万円
- 国際交流協会への支援など 1千326万円
- 上田市との児童交流 236万円
- まつり岡垣の支援 638万円
- 春まつりの支援 181万円
- 人権の啓発など 169万円
- 男女共同参画の推進 49万円

地域に誇りを持ち、個性あふれる人材を育てます



小中学校の耐震補強工事など

そのほかの会計の決算

【特別会計】

会計名	収入	支出	差引
国民健康保険事業	36億 8,022万円	36億 5,123万円	2,899万円
後期高齢者医療	4億 6,318万円	4億 5,553万円	765万円
住宅新築資金等貸付事業	227万円	77万円	150万円

- 計画の推進
- コミュニティ活動への支援 669万円
- 自治公民館活動の支援など 1千65万円
- 職員の研修 163万円
- 行政情報システムの新規開発 707万円
- その他
- 県知事・県議会議員、町議会議員の選挙の実施 1千362万円

【公営企業会計】

会計区分		収入	支出	差引
水道事業	収益的収支	4億7,269万円	4億6,328万円	941万円
	資本的収支	1億4,700万円	3億3,411万円	
下水道事業	収支的支出	7億5,493万円	7億553万円	4,940万円
	資本的収支	3億7,784万円	7億2,077万円	

※税抜きの金額です。資本的収支の不足額は公営企業に保留している資金で補っています

問い合わせ  
総務課へ

# 決算から学ぶ、岡垣町のまちづくりと財政！

## ～「おか」先生と「がっきー」ちゃんの決算のはなし～

まちづくりと財政のはなしを、中学校の社会科の「おか」先生とその生徒「がっきー」ちゃんのはなしを通して、分かりやすく説明していきます。

あるんですか？  
 ① 主なものとして、右下の表①のような財政の指標が公表されているよ。

② 8月に勉強したときに、町の財政は、その状況を示すさまざまな指標で判断されるって教えてもらいましたけど、平成23年度の岡垣町の決算の指標にはどんなものがあるんですか？

### 財政の指標とは？

③ いいよ、がっきーちゃん。じゃあ、平成23年度の決算を財政の指標などを見ながら勉強してみようね。  
 ④ おか先生こんにちは。今日は岡垣町の決算について教えてください。

### 【登場キャラクターの紹介】

「おか」先生  
 中学校の社会科の  
 男の先生



「がっきー」ちゃん  
 中学3年生の女の子



⑤ そのとおり。よく覚えていたね。今回は県内の類似団体の中でも、岡垣町と同じ人口3万人以上の団体6町と比較してみるよ。

⑥ 類似団体って、岡垣町に近い人口と産業構造を持つ団体のことでしたね。  
 ⑦ 岡垣町の財政が良好なのかどうかを判断するために、平成23年度の財政指標の数値を、県内の類似団体と比較しながら見ていこうね。

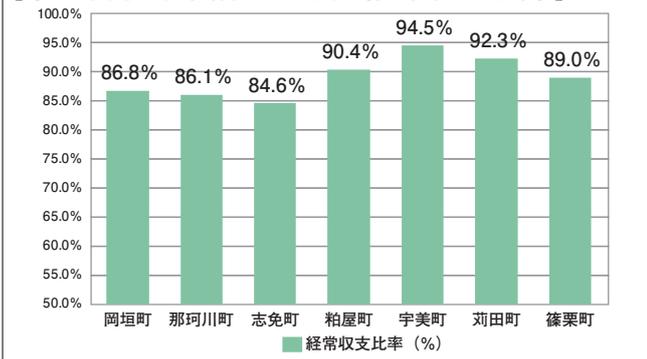
⑧ ささまざまな数値があるんですね？  
 ⑨ 岡垣町の財政が良好なのかどうかを判断するために、平成23年度の財政指標の数値を、県内の類似団体と比較しながら見ていこうね。

### 類似団体との比較

### 【① 岡垣町の子な財政指標】

住基人口(平成24年3月31日現在)	32,411人
経常収支比率(%)	86.8
うち	
人件費(%)	18.8
物件費(%)	18.5
扶助費(%)	5.9
補助費(%)	23.0
公債費(%)	7.4
財政健全化判断比率	
実質赤字比率(%)	—
連結実質赤字比率(%)	—
実質公債費比率(%)	4.9
将来負担比率(%)	—
資金不足比率	
水道事業(%)	—
下水道事業(%)	—
財政指数	0.55

### 【② 県内類似団体との比較(経常収支比率)】



⑩ この比率が高くなるのは、財政状況に余力がなくなることを示すんだ。がっきーちゃんの生活に  
 ⑪ この比率が高くなるとうなるんですか？  
 ⑫ この比率が高くなるとうなる8月に勉強したよね。  
 ⑬ この比率が高くなるとうなるのは、財政状況に余力がなくなることを示すんだ。がっきーちゃんの生活に  
 ⑭ この比率が高くなるとうなる8月に勉強したよね。  
 ⑮ この比率が高くなるとうなるのは、財政状況に余力がなくなることを示すんだ。がっきーちゃんの生活に

### 経常収支比率の比較

【③ 財政健全化判断比率】

単位：%	岡垣町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.41	20.00
連結実質赤字比率	—	19.41	30.00
実質公債費比率	4.9	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

【早期健全化基準】俗に言うイエローカード(警告)。基準を超えた場合、早期健全化計画を作り、自主的に改善する必要がある。

【財政再生基準】俗に言うレッドカード(財政再生団体)。基準値を超えた場合、財政再生計画を作り、国などが関与して確実に再生に取り組まなければならない。

財政健全化判断比率の比較

例えると、食費や光熱費などが生活に必要な固定経費なんだ。でも、その固定経費の割合が高くなると、洋服やCDを買ったり、映画を見に行ったりするお金に余裕がなくなるよ。だから、この比率が高くなると、経常経費の削減に取り組まなければならないんだよ。

じゃあ次に、財政健全化判断比率のことを教えてください。

財政健全化判断比率には4つの指標があるんだよ。岡垣町のそれぞれの数値は左の表③の通りだよ。1つ目の実質赤字比率は、一般会計などの赤字の状況を表すも

実質公債費比率の比較

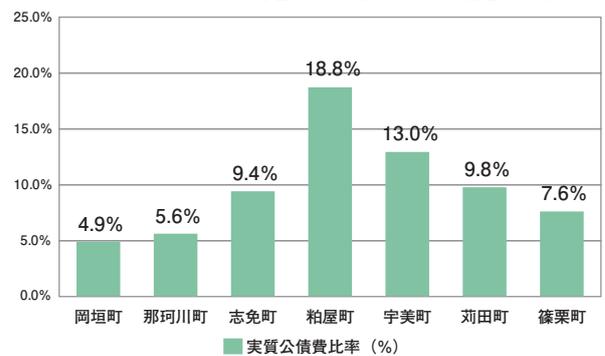
右下のグラフ④では、岡垣町の実質公債費比率が、ほかの団体に比べて低い数値だけど、この比率はどういうものなんですか？

実質公債費比率は、一般会計などが負担する町債の返済額の比率を表すものなんだよ。

町債の返済は、家や車のローンを返済するのと同じようなイメージでしょ。じゃあ、この比率が低いのは、良好な数値なんですね。

そうだね。がっきーちゃんの家で考えてみても、毎月のローンの返済額が大きければ家計が苦しくなるよ。起債は各団体でさまざまな理由があつて行うものだから、一概に高ければ悪いということではないけれど、町債の返済額は毎年負担する必要がある固定経費だから、この比率が低いという

【④ 県内類似団体との比較(実質公債費比率)】



将来負担比率の比較

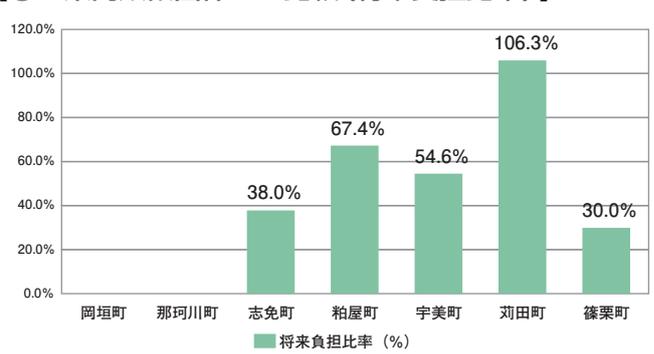
右下のグラフ⑤の将来負担比率は、数値が無いのはどうしてですか？

将来負担比率は、一般会計などが将来負担する負債の比率を表したものだよ。

町債などの借入金も将来負担する負債にはならないんですか？

これは良い数値だと言えるよ。岡垣町はほかの団体と比べても低い数値になっているし、平成22年度の決算と比べても、さらに0.9%も数値が低くなったんだよ。

【⑤ 県内類似団体との比較(将来負担比率)】

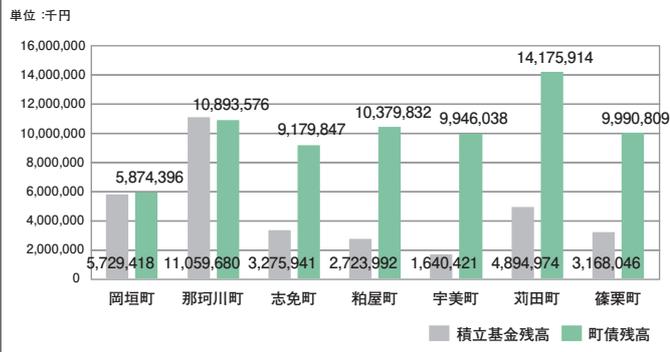


がっきーちゃんの言うとおり、町債などの残高も将来負担すべき負債だと言えるね。将来負担比率は、町債の返済をはじめ、今後負担しなければならない額から、それらを返済するための財源として、今後収入される地方交付税や現在積み立てをしている基金などを差し引いた実質的に将来負担する額の比率を示した数値なんだ。

じゃあ、数値が無いということ、岡垣町は負債よりも今後見込まれている収入や基金の方が多いうてことなんですね。

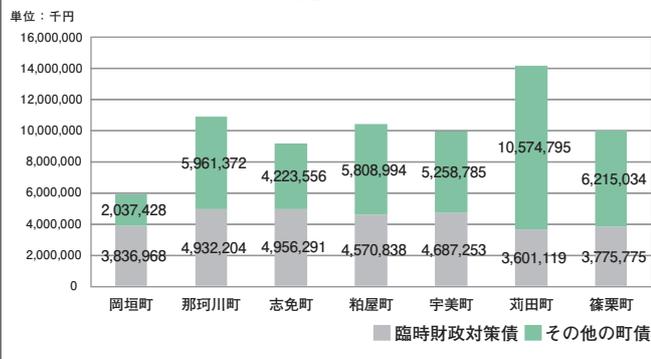
そういうことになるね。このこ

### 【⑥ 県内類似団体との比較(基金と町債の残高)】



※基金と町債の残高は平成23年度地方財政状況調査による

### 【⑦ 県内類似団体との比較(町債の内訳)】



※町債の残高は平成23年度地方財政状況調査による

町債の内訳を見ても、臨時財政対策債の占める割合がすごく高いんだよ。  
臨時財政対策債って何ですか？  
国の財政事情で、地方交付税として町に収入されるべき財源が足りない場合に、その一部を町債に替えているものなんだ。臨時財政対策債の返済に必要な財源は、次年度以降の地方交付税で、町に収入されることになっているんだよ。この臨時財政対策債が岡垣町の町債残高の内65・3%を占めているんだよ。  
じゃあ、岡垣町が自ら起債した

### 自主財源と依存財源の比較

それはどういうことですか？  
岡垣町は自主財源比率が高くないんだよ。右下の表⑧を見てごらん。今回比較した類似団体の中では最も自主財源比率が低い数値になっているのが分かるよね。  
今日教えてもらった財政指標を見てみると、それぞれの指標の数値は良好だし、岡垣町の財政は大丈夫ですね。  
そうだね。これまで勉強してきた指標から見ると、岡垣町は良好な財政状況を保っていると言えると思うよ。でも、一方で課題もあるんだよ。

町債の残高は、全体の34・7%しか無くてことですか？  
そのとおりだよ。それだけ岡垣町が独自に起債した町債が少ないということだね。  
町債が少ないのはすごくいいことなんですよ。  
自治体にはさまざまな地域の特性があるから、町債の残高だけで一概に良い、悪いとは言えないけど、岡垣町の町債残高が少ないのは、目的に応じて国の財政措置なども考えながら、最小限の起債で効率的な財政運営を行ってきた成果だと言えると思うよ。

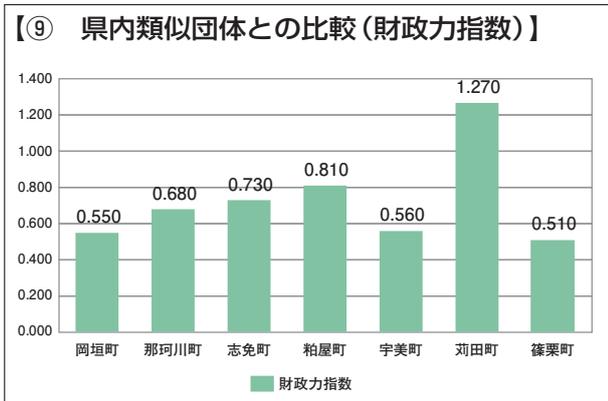
今日教えてもらった財政指標を見てみると、それぞれの指標の数値は良好だし、岡垣町の財政は大丈夫ですね。  
そうだね。これまで勉強してきた指標から見ると、岡垣町は良好な財政状況を保っていると言えると思うよ。でも、一方で課題もあるんだよ。

町債の残高は、全体の34・7%しか無くてことですか？  
そのとおりだよ。それだけ岡垣町が独自に起債した町債が少ないということだね。  
町債が少ないのはすごくいいことなんですよ。  
自治体にはさまざまな地域の特性があるから、町債の残高だけで一概に良い、悪いとは言えないけど、岡垣町の町債残高が少ないのは、目的に応じて国の財政措置なども考えながら、最小限の起債で効率的な財政運営を行ってきた成果だと言えると思うよ。

自主財源比率は町が自分で得るお金のこと、依存財源は国や県から入ってくるお金のことだね。  
そのとおりだよ。自主財源は、住民税や固定資産税などの税金や施設を使うときの使用料などだね。依存財源は、地方交付税や国、県からの補助金や町債などだよ。収入全体に占める自主財源の割合を自主財源比率と言うんだよ。  
自主財源比率が低いとどんな問題があるんですか？  
住民の生活に必要な行政サービスを提供するためには、安定した財源が必要だよ。でも、自主財源比率が低ければ、地方交付税などの依存財源の増減に、町の収入が大きく左右されてしまうんだ。それに国や県からの補助金などは使い道が決められているもの

### 【⑧ 自主財源と依存財源の状況】

自治体名	自主財源比率(%)	依存財源比率(%)
岡垣町	42.7	57.3
那珂川町	53.5	46.5
志免町	50.9	49.1
粕屋町	58.7	41.3
宇美町	45.1	54.9
苅田町	71.9	28.1
篠栗町	43.1	56.9



が多いから、自主財源比率が低いと、町が必要に応じて自由に使える財源に余裕がなくなってしまうんだよ。

●自主財源が多いほど、町独自のサービスが出来たり、財政の安定につながったりするということですね。

●そのとおりだよ。だから、自主財源を増加させることが必要なんだ。自主財源比率と同じような指標に、左のグラフ⑨の財政力指数があるんだ。この指数は、その団体の財政力を示す数値で、高ければ高いほど財源に余裕があることを示すんだよ。

●類似団体と比べて、高いとは言

えない数値ですね。

●岡垣町には大きな工場が無いだろう。だから法人税などの収入がそれほど多くないんだ。

### 平成23年度決算のまとめ

●最後に平成23年度の決算から分かることを教えてください。

●平成23年度の決算は、平成22年度に引き続いて単年度収支が黒字になったし、経常収支比率も前年度並みの数値を保っていて、財政指標の数値から見ても健全な財政状況を保っていると言えると思うよ。

●経常経費の削減や自主財源を増やすための取り組みはどうなっているんですか。

●経常経費は、人件費の削減や、外部評価を行って公共施設の管理方法を見直すことによる経費の削減などに取り組んでいるんだよ。

●自主財源の状況はどうなんですか？

●自主財源の代表的なものである町税は、わずかに減少しているよ。

●これからも減少していくんですか？

●はつきりとしたことは言えないけど、町税は近年減少傾向にあるからね。それに平成23年度は、人口が減少に転じたんだ。今後の

税収に影響がでることが心配されるよね。

### 財政運営の課題

●岡垣町は健全な財政状況を保っているようだけど、これからどんなことに気を付けていかなければならないんですか？

●まずは、今後も計画に基づいて、さらに経常経費を減らすことに取り組みでいかないといけないね。

●そうですね。支出を減らせば、収入が減っても大丈夫ですよ。

●そんなに簡単なことではないよ。がっきーちゃんも食費を節約することはできても、食費を無くすることはできないだろう。病気になるんだったら、医療費も必ず必要だよ。特に近年は、自然災害が多発したり、全国的に少子高齢化が進んだりしているだろう。そんな中で、防災対策や住民生活に必要な医療、福祉などに必要な経費は増加しているんだ。

●だから安定した行財政経営をしていくために自主財源を確保する取り組みが必要なんです。

●そうですね。住民が安心して安全に暮らすための行政サービスを提供するためには、それに必要な財源を確保する取り組みがすごく大切なんだよ。

### 今後のまちづくり



●岡垣町は、自主財源を確保するために、どんな取り組みをしているんですか？

●将来に向けて自主財源を確保するために、岡垣町では定住人口の増加と企業の誘致を進める必要があると考えているんだ。

●そのために、JR海老津駅南側の開発や中心市街地の活性化、空き家バンク制度の構築などに取り組んでいるんですよ。

●そのとおりだよ、がっきーちゃん。これらの取り組みは、将来の健全な行財政経営のために必要なものなんだ。今後も平成23年度から始まった第5次総合計画に沿って、まちづくりが進められていくから、何か聞きたいことがあったらいつでも一緒に勉強しようよ。

●はい。先生、今日もありがとうございました。

問い合わせ 総務課へ